

トラガールが ひら拓く道

“女性は運転が下手”はもう過去のこと。運輸業界で活躍するトラガールは男性と同等の戦力として現場で輝いています。

男女問わず仲間と
同じ仕事ができる
今が幸せ
株式会社グリーンエース

コンテナを積んだトレーラーは、全長16m、高さ最大4.1mに達する。この巨大な車両を自在に操り、定められた場所へびたりと駐車する運転技術は、まるで手品のように鮮やかだ。



秋村さんはコンテナターミナルへの搬入待ち時間を利用して、船舶免許やそのために必要な英語を勉強するのが今の楽しみ。いつかは飛行機の資格も学びたいと笑顔を見せる。

男性の職場で信頼を得るまでの
長い道のり

海上コンテナの輸送サービスを行うグリーンエースには、二人のトラガールが在籍しています。彼女たちが運転するのは、コンテナを積んだ大型トレーラー。巧みにハンドルをさばいて全長16mに及ぶトレーラーを自由自在に操るのは、トラガールとしてキャリアを積み19年目を迎える秋村妙子さんと、21年目の水口葉子さん。高い技術が必要とするトレーラーも昔の大型トラックに比べれば、ハンドルやブレーキの性能が改善されており、乗りやすいのだとか。ただ、コンテナを積載しているときの走行の不安定さやコンテ

ナの大きさで異なる車両の長さ・高さの感覚をつかむのは、長年の経験があっても簡単ではないそうです。もともとは事務員だった水口さんが

この仕事に転職した理由は「大型トラックに乗る女性運転手を見てカッコいいと思った」から。秋村さんも「当初はタクシードライバーが目標だったが、運転技術向上とお金を稼ぎたかった」と、きっかけはシンプルでしたが、経験を積んでいくうちに、もっと大きなトラックに乗りたいという気持ち膨らみ大型免許を取得。しかし現実には厳しく、大型車の免許を持っていても運転経験がない女性はずくには雇ってもらえませんでした。男性なら一足飛びで大型トラックに乗れるところ、

2tから4t、7t、10tへと経験を積みなければならなかったそうです。また、女性というだけで技術がないと判断され悔し涙を流したことも。

「つらい事もあったけど、取引先から優しく接してもらえるなど女性としての恩恵もあったので、苦労を乗り越えられました」と二人。今では会社の仲間はもちろん、本多康彦社長からも「始業点検や運転操作に関してとても細やか」と、太鼓判を押されるほどの信頼を得ています。

長時間待機も時間の有効活用で
ストレスフリーに

彼女たちの出社は朝5時。始業点検、対面点検、アルコール検査を行った後、

トラクタ、トレーラーの連結作業を終え、関東圏内の目的地へ。輸送作業は基本1日2回。コンテナターミナルへの搬入待ちで、長時間待機を強いられることも少なくありませんが、時間を有効に活用している二人にストレスはないそうです。秋村さんは現在、搬入待ち時間を利用して船舶免許取得に向け勉強中。新婚の水口さんは、2人で調べものや本を読み、時間を有効に使うことで家事と仕事の両立ができています。

「男性と同じ量の仕事をさせてもらえて、お給料も同等。そのやりがいと見合った対価に加え、時間を有効に使える今はとても幸せです」。そう語った二人の笑顔は仕事への誇りに満ちあふれていました。



ハンドルを握る代田さん。一人ひとりが責任を持って配達する仕事に、今でも緊張感を覚えるそうだ。「そこがやりがいでもあるし、慣れてしまっただけは、むしろ怖いと思っています」

トラック運転手は 定年まで 続けたいくなる 仕事です 七福運送株式会社



左から、若月悦子さん、代田雅子さん、永友みゆきさん、栄真佐美さん。女性同士はもちろん、取材中の現場を通り過ぎていく男性社員らとも和気あいあいとした雰囲気、笑顔が絶えない職場。

就業時間とやりがい トラック運転手の魅力

一方、大型車と比べ普通免許で運転できる※2tトラックでは、女性運転手の活躍の場が広がりを見せています。七福運送にも、20年以上の経験を持つ

代田雅子さん他、15年以上の経験豊富な8名のトラガールが在籍し活躍しています。彼女たちがトラガールになったのは、「デスクワークが苦手」「シングルマザーだから稼ぐ仕事に就きたい」「運転が好きだから」「他の仕事が見つからなくて」など、理由はさまざま。憧れや興味から始めた人は決して多くはありませんが、仕事を続けていくうちに仕事の面白さや充実感を体感し、今ではみんなが「仕事が楽しくて辞められない」と口を揃えて言います。

その理由の一つが、時間を有効に使えること。新聞輸送などを取り扱う七福運送では、午前10時～午後2時、午後10時～午前2時に輸送作業を行っており、合間の時間は子育てや家事など、自由に使えることが魅力だそうです。「夕方から夜にかけて掃除や夕食の準備もでき、仮眠も取れます。朝は子どもを見送ってから仕事に行けるのでとても助かっています」と、子育て中の永友さん。

また、達成感があることも魅力の一つと話すのは、子育て後にトラガールに復帰した若月さん。「工場から各営

業所まで、輸送作業を一人だけで行うので責任は全て自分。その責任感がやりがいにつながっている」と語ります。

女性の不便さを 感じさせない社風

大型車同様、パンクや雪の日のチェーン装着など、女性だけでは難しい作業もありますが、七福運送では男性社員が率先して手伝ってくれるそう、その社風が女性の働きやすさにつながっています。

鈴木祥太社長は「多くの女性運転手がいることで、会社の雰囲気がとても明るくなります。男性社員も責任感を持って仕事に取り組み、彼女たちだからこそ、仲間意識を持って協力しているのだと思います。女性はコミュニケーションの取り方もうまく、相手先からの当社イメージも向上します。トイレやロッカー設置など、ハード面に投資がかかっても会社には必ずプラスになります」と話し、今後も女性運転手の獲得に意欲的です。

代田さんは、運転手は女性にお勧めできる仕事と誇らしく語ってくれます。「楽しくてやりがいのある仕事だから、若さも保つことができているんです。できれば定年までずっと続けていきたいですね。トラガールは男性中心の職場で敷居が高く感じるかもしれませんが、私にとっては魅力いっぱい仕事です。責任感のある人には、ぜひ挑戦してほしいです」

※平成19年の道路交通法改正により、平成19年以降の免許取得者は2tトラックであっても車両総重量が5tを超える場合、中型免許が必要となります。